

令和3年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
1	R3.11.15	市政懇談会	笹間	農林部	農村林務課	害獣対策について	<p>今年も熊の目撃情報が6月頃から多く寄せられている状況にある。9月8日には横志田地区で窓ガラスを割って家に侵入した熊に襲われて怪我をした事故は記憶のあるところだと思う。</p> <p>花巻市では害獣被害に遭わないためどのような対策を講じているかお尋ねしたい。</p> <p>○猟友会及び広報車両等によるパトロールを強化するべき</p> <p>地域では、熊を目撃したら警察に電話をするよう回覧板等で周知し消防団にも広報をお願いしているところである。また、市役所にも来ていただき、更に広報車両で啓発もしていただいているが、害獣の出没時の対応だけではなく恒常的な広報活動等が必要と思われる。</p>	<p>市では害獣被害に遭わないために気を付けていただきたいことについて市のホームページや広報で周知している。ホームページについては随時掲載しており、広報は4月15日号、8月1日号に掲載している。</p> <p>具体的には「音の出るものを携帯する」「熊の行動が活発になる早朝、夕方には周囲に気を付け、森林のそばの農地は熊の出没ルートとなりやすいので特に注意し、周囲の灌木の刈り払いを行う。」「できるだけ単独行動を避ける」「生ごみや野菜、果実の廃棄残渣を適切に処理する」「収納庫に入り込まないよう施錠をする」などをお願いしている。また、熊はガソリンなどの揮発性物質にも反応するため、保管場所にも気を付けてほしい。さらに、墓地のお供え物の持ち帰りなども対策として掲載している。</p> <p>パトロールについては、被害があった際にも当然パトロールをしているが、6月から10月の間には市で任用した有害鳥獣対策支援員により週3回の市内パトロールを行った。熊については太田、笹間地区が多く目撃されていることから、重点的にパトロールしている。出没時については、警察や消防と連携しながら対応しているが、恒常的なパトロールは今後も引き続き行ってきたい。</p>
2	R3.11.15	市政懇談会	笹間	農林部	農村林務課	害獣対策について	<p>○電気柵より安価に設置可能でより効果的な方法を講じるべき</p> <p>広大な地域全体を害獣から守るため電気柵設置は困難であること、電気柵を設置してもその下をかいぐって農作物等に被害が出ていること、漏電対策のため頻繁に電気柵周辺の草刈作業が必要であり維持管理が大変であることから、電気柵に代わる安価で設置効果大きい代替機器等の早期導入が望まれる。</p>	<p>害獣から守るための方策については、主に電気柵ということで取り組んでいただいている。当該でもなるべく手間がかからず効果的なものがないか情報収集に努めているところであるが、全国や県内の取組を見ても電気柵が最も効果的ではないかと考えている。県で行っているアンケート調査などを見ても、電気柵が有効であるとの回答が多くなっている。</p> <p>電気柵の設置については、補助制度を設けており、個人では事業費の1/2(上限7万円)、3名以上の団体では3/4(上限30万円)の補助をしている。</p> <p>電気柵の効果を発揮させるためには、場所や段数、間隔など適切な方法による設置が必要である。また、草刈りなど適切な管理も重要である。多面的機能支払の取組とすることも可能であるので、それも管理の手段の一つと考えている。草地や藪が移動ルートや餌場となる可能性が高いことから、地域内の農地周りの管理整備は重要である。遠野市では、「設置だけでは守りきれず、その後の管理が大切である。」と指導しているとのことで、当市においても同様に皆様の協力が不可欠である。</p> <p>市では、今年度から猟友会の事務局長をされていた方を有害鳥獣対策アドバイザーとして任用している。対策についての様々な相談などに対応していただくこととしているので、電気柵の設置の仕方や管理について相談したい場合には農村林務課までご連絡をいただきたい。また、市では有害鳥獣の実施隊ということで捕獲に携わっている方々もおり、罠の設置等も相談に乗れる。</p> <p>色付きテープや防獣ネットというものもあるが、慣れてしまうと効果がないとされているので、対策等について情報収集し、より効果的な方法があれば情報提供していきたい。</p> <p>熊に関して今年の2月、3月に環境省と専門家、他の市長とウェブ会議を行った際に、専門家の方から北東北3県は熊が増えているとの話があり、環境省には熊が増えているのであれば情報提供してほしいと話した。専門家の話では、山奥は年を取った熊が縄張りに入っているため、若い熊は追い出されて里に下りてくる傾向があるとのことであった。最近では鳥獣駆除だけではなく、狩猟としての熊の捕獲頭数も増やしている。最近では罠猟についても住民の方の関心が強く、罠をやりたいという方も増えてきている。先日、「罠の免許を取るための講習会の場所が限られており、花巻でもやってほしい」、「試験も宮古だけでは困る」「申請書をパソコンで提出するに当たり市で手伝ってほしい」などの話があり、そういうことを検討して免許を取れるように整備していく必要がある。</p> <p>有害鳥獣対策アドバイザーなどは、適切な人材がいるかということはあるものの、必要があれば人数を増やすことは可能である。パトロールを増やしてほしいなどあれば、連絡してほしい。</p> <p>鹿の捕獲については、農水省で1頭当たり8千円を出しているのに市で上乗せ補助をしている。去年の1,200頭近い捕獲数は降雪状況が影響していると言われていたが、今年も雪のない10月まで522頭捕獲していることを考えると、上乗せ補助の効果は大きいように感じる。この補助についても、必要に応じて予算を増やして対応していく。</p>

令和3年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
3	R3.11.15	市政懇談会	笹間	農林部	農村林務課	害獣対策について	○猪による水稻等農作物被害に対する助成等の対策を講ずるべき 猪が歩いた水田等の稲は匂いがついて収穫しても出荷出来ないなど、収穫量減少に伴う収入減少など被害が生じているので、収入減収分の補填助成が望まれる。また、害獣(猪、熊、鹿等)の年間駆除数についても伺いたい。	農作物被害に対する助成については、農業共済組合の収入保険では、自然災害や病害虫のほか鳥獣による被害も対象としている。市では、収入保険の加入促進として、保険料の1/2を補助する制度を設けている。ぜひこちらの保険の加入を検討していただきたい。 害獣の捕獲数について、熊は令和2年度に31頭捕獲しており、今年度は10月末ですすでに24頭の捕獲となっている。鹿については令和2年度1,160頭捕獲している。令和元年度の鹿の捕獲は450頭程度と記憶しており、かなり数が増えている。今年度も522頭の鹿を捕獲しており、生息数が増えているという状況である。
4	R3.11.15	市政懇談会	笹間	農林部	農村林務課	害獣対策について	草刈りについても多面的機能支払の対象になるということについて、以前からそういう制度であったか伺いたい。	具体的にいつからそうなっているかは把握していないが、鳥獣から守るという行為については交付金の対象となっている。
5	R3.11.15	市政懇談会	笹間	市民生活部	市民生活総合相談センター	道の駅はなまき西南周辺への公共施設等整備について	道の駅はなまき西南に隣接してコンビニエンスストアが開業しがソリンスタンドも出店予定となるなか、西南中学校付近を中心に県道13号線の笹間バイパス沿線が活性化しつつある。花巻市では同地周辺への公共施設整備をどう捉え、将来の姿をどのように描いているかを伺いたい。 ○笹間駐在所の移転新築について 道の駅はなまき西南を含む西南中学校周辺は、国土交通省等が提唱する小さな拠点として公共施設等を整備していくことが望まれる。 笹間地区行政区長会では花巻警察署に笹間バイパス沿いの西南中学校周辺に笹間駐在所の新築移転要望をしている。 管轄外だと思うが、現駐在所の場所は、昭和の高度経済成長期には民家が密集するなど適地であったと思われそうですが、道の駅開業に伴い周辺の交通量が増加し付近を通る児童生徒の安全など周辺環境の変化に対応した活動が求められていますので、笹間駐在所の移転新築について岩手県に働きかけをお願いしたい。	花巻警察署に駐在所の移転・新築の条件等を伺ったところ、交番や派出所、駐在所については事件、事故などの発生状況を勘案し、岩手県警本部で統括して設置場所を選定しているとのことであった。 笹間駐在所の移転・新築については、道の駅はなまき西南の開業以前から要望いただいております。そのことについては花巻警察署を通じて岩手県警本部に伝えられていることは確認しています。

令和3年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
6	R3.11.15	市政懇談会	笹間	地域振興部	地域づくり課	道の駅はなまき西南周辺への公共施設等整備について	○笹間振興センター移転新築について 笹間振興センターは建設から相当年数が経過し、経年劣化が著しく、修繕対応で維持管理してきている。今後、少子高齢社会はますます進展するものと推測され、公共施設の配置等も長期的な視点を持って検討する時期になっていると思われる。地域の中核施設としての笹間振興センターの笹間バイパス沿い西南中学校周辺への移転新築についてどう捉えているか伺いたい。	振興センターを含む公共施設の改修・更新費用については、将来的に市の財政を圧迫することが予想されることから、今後も維持していくべきという施設については計画的な点検や修繕により、安全・安心の確保と長寿命化を図っていくこととし、パブリックコメントや市民説明会などの市民参画を経て、平成29年3月に花巻市公共施設マネジメント計画(基本方針編)、令和2年10月に同計画(実施計画編)を策定したところである。 笹間振興センターは昭和49年に建築されているが、耐震診断を実施した結果、耐震性があるという結果が出たことから、施設を維持するという方針となり、令和6年に工事の実施設計、令和7年に改修工事を予定している。 振興センターについては、花西振興センターが耐震性がないという結果となったことから、昨年度解体し、新しい図書館が建設された際に現在の図書館に移転することを想定している。また、大迫の亀ヶ森振興センターについては、亀ヶ森小学校が大迫小学校と統合することに伴い、そちらに移転する計画となっている。それ以外の振興センターでは、移転新築の予定はない。 今後人口減少の進行などにより、再編等が必要と判断される場合には、地域の皆様からその時点での地域の状況や意向を伺いながら、振興センターの整備の仕方やコミュニティ地区のあり方など検討していくことになると思う。
7	R3.11.15	市政懇談会	笹間	教育部	教育企画課	道の駅はなまき西南周辺への公共施設等整備について	○西南中学校区内の教育環境について 笹間第一小学校と笹間第二小学校は令和5年4月1日をめどとして統合することで設立準備委員会を立ち上げ両校の統合に向けて準備が進んでいるが、両校統合後も児童数減少は更に進むものと思われる。また、西南中学校生徒数も減少が続く中で、西南中学校区内の教育環境にとって大きな課題である。 西南中学校区内の教育環境の将来構想をどう描いているか伺いたい。	本年6月14日に笹間地区教育懇談会を開催し、将来的には西南地区としての小学校統合を見据えつつ、令和5年4月1日に笹間第一小学校と笹間第二小学校を統合することについて、地域として判断いただいた。 現在、この統合を円滑に進めるため、本年8月30日に「笹間第一小学校・笹間第二小学校統合準備委員会」を設立し、11月30日に開催予定の第1回準備委員会に向けて教職員や保護者で構成する4つの専門部会(①学校経営、②教育課程、③PTA、④管理・事務)で9月24日から定期的に打ち合わせをしていただいている。統合まで1年ほどしかないのでもっとしっかりと準備を進めていきたい。 この統合に関しては、既に太田小学校、太田小学校PTA及び太田地区コミュニティ会議にもお知らせしており、今後西南地区全体の教育環境について協議をお願いしたいと伝えている。 笹間地区の統合小学校の児童数については令和5年4月の統合時は111人の予定であるが、令和9年には入学生8人、全校児童94人となる見込みである。令和10年度の入学生の状況によっては令和11年度から複式学級が生じる可能性がある。 西南中学校については現在142人の生徒数で各学年普通学級2学級、特別支援学級2学級の8学級で運営している。この生徒数も毎年数人ずつ減少し、令和9年度までに40人程度減少する見込みであり、令和10年度には全学年1学級、全校生徒100人以下となることも見込まれている。 現在は笹間第一小学校、笹間第二小学校の統合準備を進めていきたいと考えている。統合が完了し、新しい小学校の円滑な運営を確認した後、太田地区の教育懇談会を設定し、地区の皆様と課題について共有しながら、西南地区の小学校及び中学校のあり方について議論を深めていきたい。
8	R3.11.15	市政懇談会	笹間	農林部	農村林務課	鳥獣対策について	鳥獣対策について、北上市のFMでは毎朝9時前に熊の出没情報を放送している。花巻市でもFMOneを活用して随時放送してほしい。また、以前に九州に視察に行った際に、宮崎県や鹿児島県で国へ要望し、大規模な柵を作ったことで、鳥獣被害がかなり減ったとの報告を受けた。市長を先頭に東北地域の奥羽山脈や北上山脈に大規模な柵を設置するよう要望してほしい。	FMの放送については、FMOneと相談させていただきたい。 大規模な柵の設置については、情報を把握していなかったもので、調査しながら必要な要望活動をしていきたい。

令和3年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
9	R3.11.15	市政懇談会	笹間	地域振興部 建設部	地域づくり課 道路課	道の駅はなまき西南付近の施設整備について	道の駅はなまき西南について、昨年から株式会社はなまき西南と様々な活動をしているが、セミナー等の開催場所が不足している。現在はJAいわて花巻の笹間支店、太田支店を会場として借りている。振興センターとしての役割と会議室を含めた施設を早急で作っていただくことで、西南地域の道の駅の情報発信ができると思う。	振興センターについては、新築ということは考えていない。 道の駅でのセミナー開催のための施設ということについては、道の駅のあり方等もあるので、担当課に共有したい。 セミナーの開催場所について、現在は農協の施設等を借りながら対応いただいているところである。以前まではコロナの関係で振興センターの利用が制限されている状況であったが、現在は市内公共施設の利用制限レベル1ということで、笹間、太田の振興センターを有効に活用していただきたい。
10	R3.11.15	市政懇談会	笹間	建設部	道路課	道路整備について	地域内の道路整備の要望については、土木要望として地区でまとめて提出することになっている。栃内地区では砂利道の解消に関する要望を4か所出しているが、なかなか進まない状況である。	道路整備について、国では通学路や幹線道路、産業団地等に通じる道路を重点化して予算を配分している。生活道路については予算が付きにくい状況ではあるが、継続して要望活動に取り組んでいる。花巻市の市道は3,300kmほどあり、なかなか手がかからない所もあるが、地域の要望を受けながら順次対応していきたい。 また、昨年度から道路改良を伴わない舗装については、市の単独事業で進めることとしている。交通量や危険度等を勘案して対応の順番を検討することにはなるが、今後とも引き続きの要望をお願いしたい。 市から国への要望の内容としては、大きな道路の整備についての予算化だけではなく、生活道路についての予算も要望している。生活道路の整備については、市の財源と併せて国から来る社会資本整備総合交付金を使用して行っている。生活道路整備に活用できる社会資本整備総合交付金については、今年度5億円ほどと前年比で大幅増となる予算がついており、多くの道路整備を始めている。 また、国からの予算をもらって整備をする場合には、トラックも走れるような立派な舗装が必要になるが、自宅前の生活道路など立派な舗装である必要がない場合には市単独予算で整備することを始めている。舗装は簡易舗装になるが、乗用車が走る分には十分な舗装である。この事業は昨年度から始めて、今年度は10か所ほど整備しており、これまでと比べると舗装される可能性は高くなっているの、もう少し待っていただきたい。
11	R3.11.15	市政懇談会	笹間	総合政策部 教育部	秘書政策課 学校教育課	SDGsに関する取組について	大阪の企業で大学の卒業生に対し意識調査を行ったところ、6割近い学生がSDGsに取り組んでいる企業・組織で働きたいという結果が出た。 花巻市として企業への就職を勧めるのであれば、まず企業がSDGsに取り組まなければ、就職しようとする学生が減ることが推測される。 SDGsに関する市や教育現場での取り組みについて伺いたい。	SDGsは新しい学習指導要領の中でも重要なものとして位置づけられている。従来の環境、人権など全てが網羅され、国際的な一つの概念として学校でも大切に取扱っている。学校教育そのものを別の側面から見るとSDGsの概念と同じことをやっていると思っており、以前から行っていることと本質的には変わらない。 社会全体で、特に企業が積極的に取り組んでおり、商工会議所や青年会議所の方々も一生涯命取り組んでいる。花巻の子供たちは学校のキャリア教育、小学校では豊かな体験ということで学校それぞれの裁量で取り組んでいる。学校で弱いところはプラットフォームとなる方がいないということであり、教育委員会としても様々な機関と連携して進めていきたい。現在、SDGsに関する方針をはっきり示すことができるものはないが、地域に根差した活動、地域での豊かな体験を進めるため、今後学校から様々な相談があった際には、支援をお願いしたい。 SDGsについて、一般的な日本語訳は「持続可能な開発目標」である。誰一人取り残さないという理念、環境を大事にするということなどが概念としてある。SDGsについて先進国と発展途上国との間では利害対立が激しく、全て理想的かどうかについては色々な見方があるところであるが、誰一人取り残さないという理念、環境を大事にするに関連した開発目標ということであれば、しっかり取り組んでいかなければいけない。花巻市の施策について、SDGsに反するようなことはしていないと思っている。花巻市の10年間の総合計画が令和5年度までとなっており、令和6年度から新しい計画となる。今現在、職員に市の施策がSDGsの17項目に合っているかどうか精査させてはいるが、新しい計画を作る中ではチェックしていくことになる。

■ 令和3年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
12	R3.11.15	市政懇談会	笹間	地域振興部	定住推進課	空き家に関する補助金について	笹間地区で空き家が増えてきているという話を聞いたことがある。空き家に関する補助金を整備することで、人を増やす方法を検討してほしい。	<p>空き家については、花巻市空き家バンクを設置し、空き家バンクに登録された物件を購入又は賃貸を希望する方に紹介している。令和3年10月末現在で282件の物件が登録されており、成約件数は140件となっている。</p> <p>空き家バンクに登録した物件が、市外からの転入者と売買・賃貸契約が成立した場合には、空き家の所有者に対し10万円の奨励金を交付している。</p> <p>また、空き家に関する助成としては、花巻市定住促進住宅取得等補助金において、県外からの転入者や市外からの新規就農希望者が空き家バンクを利用し空き家を購入又は賃貸した場合の住宅改修費用や引越費用などについて、購入の場合は最大220万円、賃貸の場合は最大120万円を補助しており、令和3年10月末現在の補助件数は17件となっている。</p> <p>このほか、県が39歳以下の若者世代の定住を目的とした空き家の取得に対する補助制度を実施しており、市もそれと併せ、空き家バンクを利用して、空き家を購入し居住した若者世代に30万円奨励金を交付している。さらに、花巻市独自の取組として、空き家を壊して同じ場所に新しい家を建てる場合にも補助金を出している。今年から始めた制度であり、笹間での実績はないが、市全体で2件の利用があった。他には親と同じ地区に若い子育て世帯が家を建てる場合にも30万円の補助金を出している。</p> <p>空き家バンクの利用については県内で1番利用が多くなっており、上手くいっているとは思っているが、空き家の利用について若い方々からの意見があれば検討していきたい。</p>
13	R3.11.15	市政懇談会	笹間	建設部	道路課	道の駅はなまき西南の施設整備について	道の駅はなまき西南について、現状はお店が2つほど入っているだけである。外に木陰があったり滑り台があったりと、子どもが遊んだり休憩できるスペースがあれば、人が集まることができると思う。	<p>子どもが遊んだり休憩できる外のスペースを設けるという提案はいいと思う。</p> <p>設置についてのポイントは、道の駅の敷地に場所があるかということ。</p> <p>ガソリンスタンドや駐車場の付近は危険であるので、これらから離れて子どもが安全に遊べるスペースが確保できるのであれば可能性はあると思う。</p> <p>藤原副市長と道路課で検討をお願いしたい。</p>